

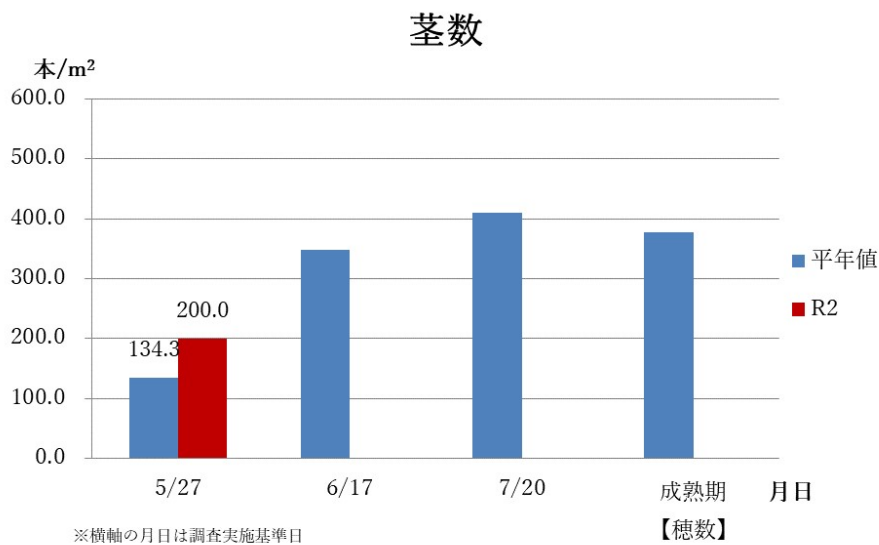
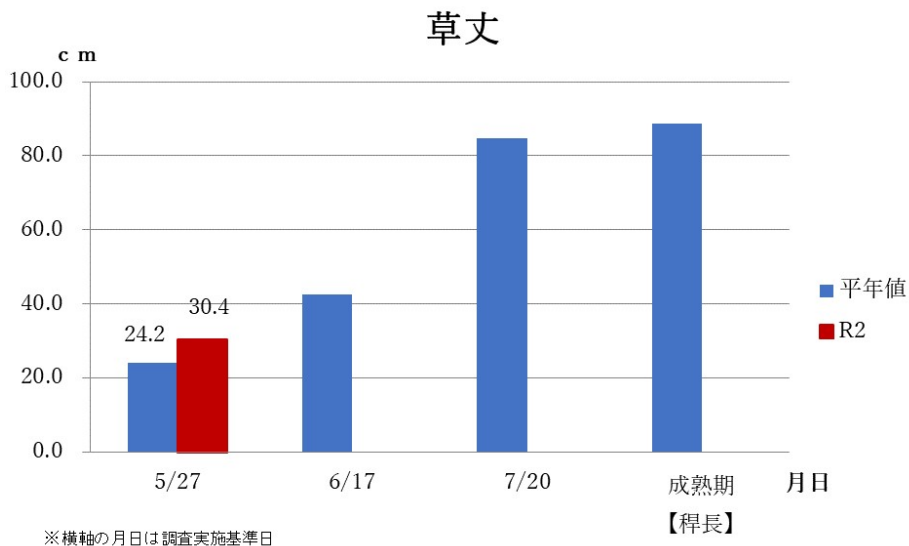
令和2年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

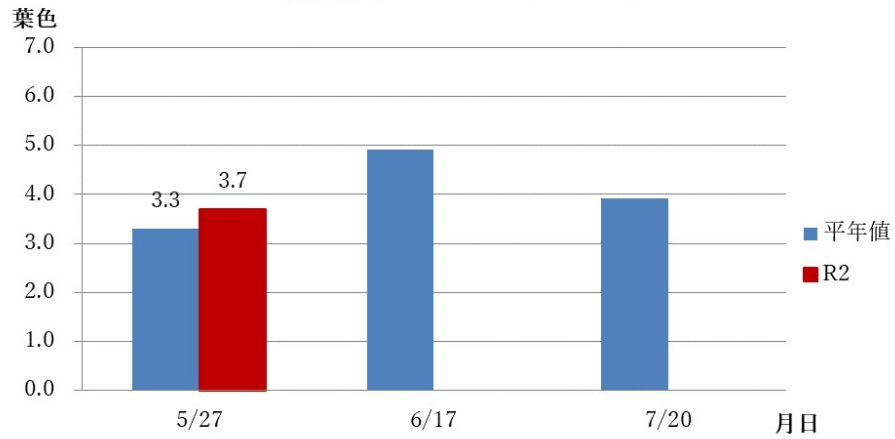
1. 水稲の生育および病虫害発生調査結果（第1回）

1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月24日	6月10日

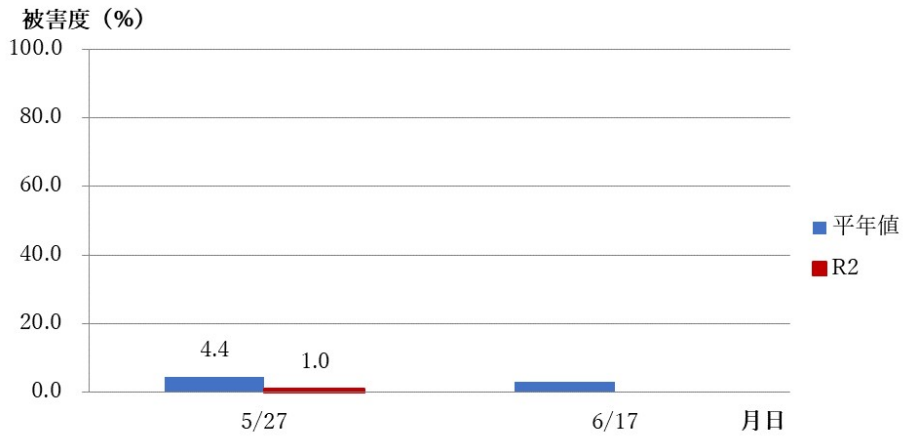


葉色(カラスケール)



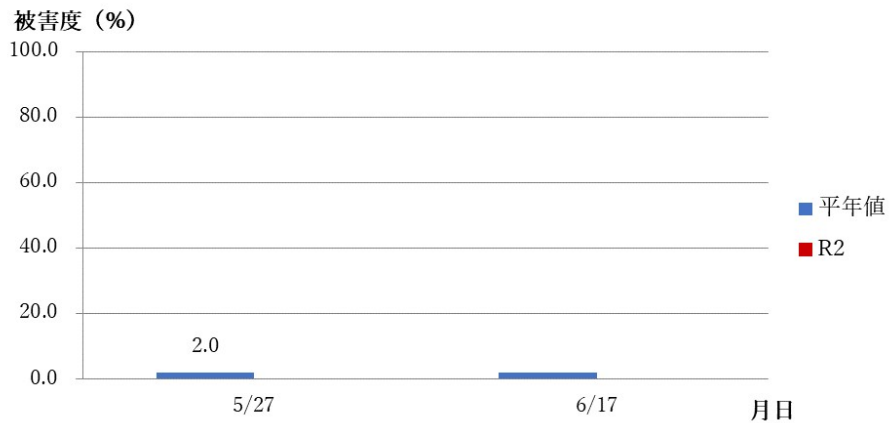
※横軸の月日は調査実施基準日

イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 27～令和元年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈は極高く、茎数は極多く、葉色はやや濃くなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数が平年よりも極多くなっています。今後も茎数が増加しますので、中干し適期を逃さないように注意します。「コシヒカリ」では、茎数 330 本/m²（畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本）の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

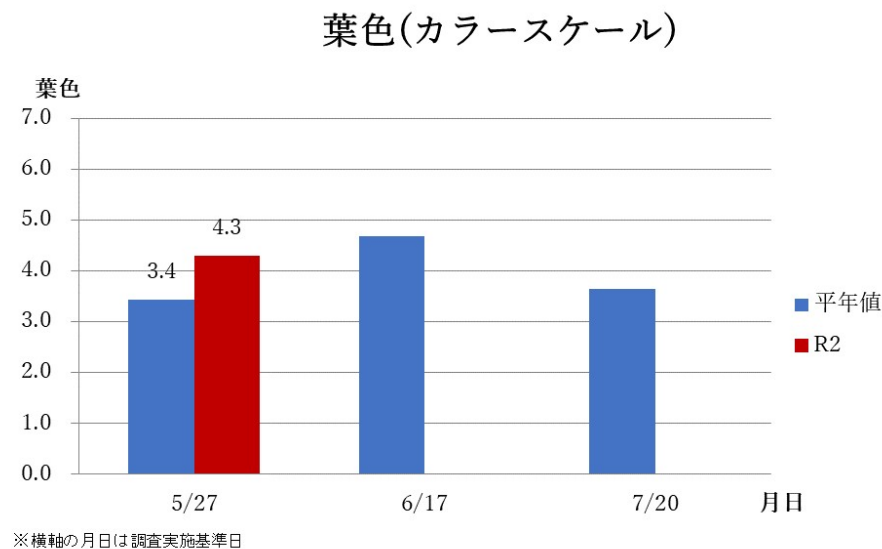
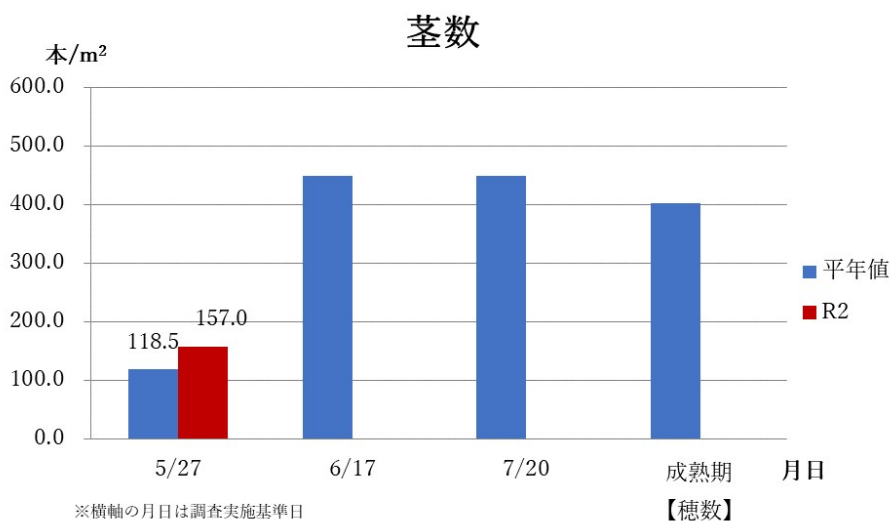
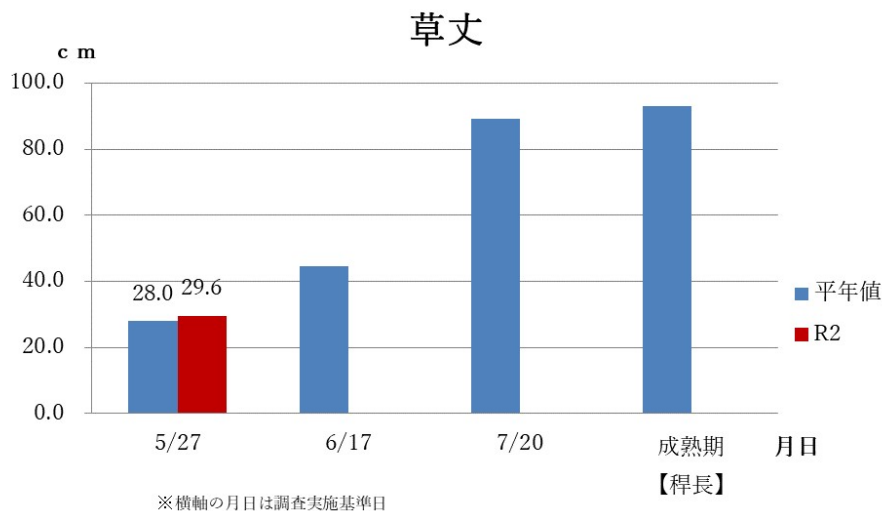
○病虫害発生調査結果について

イネミズゾウムシによる食害が少発生で、平年より少なくなっています。イネミズゾウムシの一般的な発生はすでにピークを迎えているため、現段階で問題となる被害程度ではありません。

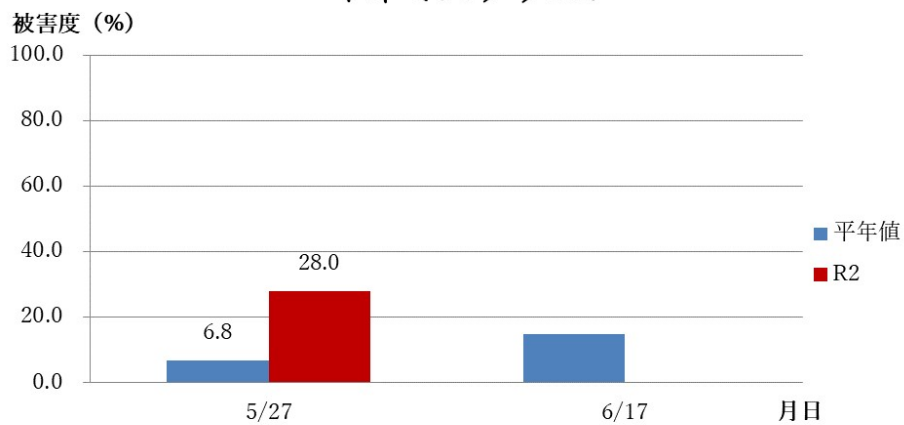
イネドロオイムシによる食害は見られませんでした。5 月下旬時点で、県内のイネドロオイムシの発生は平年並～やや少ない発生となっています。梅雨の時期となり曇雨天が続くと発生が助長されます。発生状況に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

2) 茨城町の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月9日	6月2日

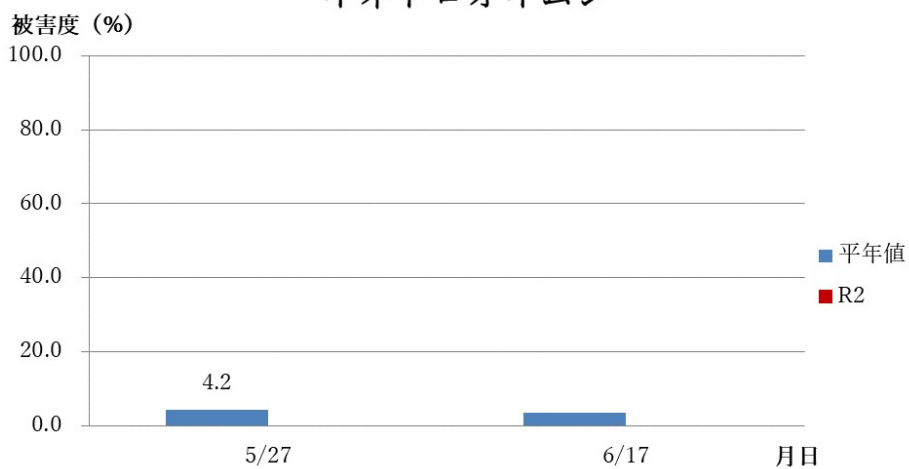


イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示

イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成27～令和元年の5年間の平均値

○生育調査結果について

【生育状況：過去5カ年の平均値との比較】

草丈はやや高く、茎数は極多く、葉色は濃いとなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数が平年よりも極多くなっています。今後も茎数が増加しますので、中干し適期を逃さないように注意します。「コシヒカリ」では、茎数 330 本/m²（畦間 30cm×株間 20cm で1株当たり 20 本）の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病虫害発生調査結果について

イネミズゾウムシによる食害が中発生で、平年より多くなっています。発生の状況をよく観察し、成虫の生息密度が8頭/10株となっている場合は、防除を行いましょう。

イネドロオイムシによる食害は見られませんでした。5月下旬時点で、県内のイネドロオイムシの発生は平年並～やや少ない発生となっています。梅雨の時期となり曇雨天が続くと発生が助長されます。発生状況に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

2. 次回調査日

6月17日

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター